

特別支援教育に関する相談

教育研究所は、高知市教育委員会の機関です。
高知市に在住しているお子さんの、特別支援教育に関する相談をお受けしています。



特別支援学校



知的障害、肢体不自由、病弱、視覚障害、聴覚障害の特別支援学校があります。

知的障害や肢体不自由の特別支援学校はスクールバスが運行されています。

登校することが難しいお子さんを対象にした訪問教育もあります。

特別支援学級



小・中・義務教育学校に設置されます。

知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、自閉症・情緒障害の特別支援学級があります。

通級による指導



通常の学級に在籍している子どもさんが対象です。

言語障害通級指導教室(小学校2校)とLD・ADHD・自閉症・情緒障害通級指導教室(小学校2校、中学校1校)があります。他校のお子さんも通ってきています。

通常の学級



通常の学級でできる、合理的配慮(注)をしながら支援をしています。



(注)合理的配慮とは

障害のある子どもが他の子どもと平等に教育を受けることができるように、学校の設置者や学校が必要な変更や調整を行うものです。体制面や財政面で過度の負担がないものとされています。

就学相談



- 保育所等から小学校、小学校から中学校への就学時に就学相談を実施しています。
- 地域の小・中学校と特別支援学校では、お子さんにとってどちらがよいのか、小・中学校では特別支援学級で支援を受けた方がよいのかなどについて相談・審査しています。

教育相談



- 小・中学校に通っているお子さんで、発達の遅れや社会性の課題、集中力の課題など、心配なことがある場合に相談を受けています。
- 学校と協力しながら、ともに支援方法について考えていきます。

教育研究所 特別支援教育班

住 所：高知市棧橋通2丁目1-50 アスパルこうち 3階
TEL：088-832-4492
対応時間：平日8:30~17:15 (祝日・年末年始を除く)

詳しくはこちらへ



病弱のお子さんの教育



通学による学びの場としては、病気の程度に応じて、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、通常の学級が考えられます。

入院が必要になった場合



高知大学医学部 附属病院	高知県立高知江の口特別支援学校 高知大学附属病院分校にて学習
高知医療センター	高知市立三里小・中学校池分室にて学習
独立行政法人 国立病院機構高知病院	高知県立高知江の口特別支援学校 国立高知病院分校にて学習
その他の病院	高知県立高知江の口特別支援学校本校の教員が 入院している病院を訪問して学習(要相談)



入院中は、医師の許可のもと、体調管理をしながら、学習に取り組みます。学習支援を受けるためには、転校の必要があります。退院すれば、もとの学校へもどることになります。

医療的ケアが必要なお子さんへの支援

高知市立学校では、「高知市立学校における医療的ケア実施要綱」に基づき、主治医の意見書や指示書のもと、学校での看護師等による医療的ケアが実施可能と判断した場合は、訪問看護ステーションへの委託等により、学校において医療的ケアを実施します。

就学相談について

いつから就学相談ができますか？



対象幼児

- 基本的には、年長児のお子さんを対象に就学相談を行います。1月末に就学相談の案内を保育所・幼稚園等へ配付します。5～6月頃に面談日を設定します。
- 医療的ケアが必要であったり、施設設備の改善等が必要であったりする場合は、年長になる以前からの相談もおこなっております。
- 初回相談は高知市教育研究所で行います。その後は、必要に応じて電話相談や面談をおこないます。

就学相談ではどんなことを相談できますか？



相談内容

- お子さんのことについて、全般的にお話をお伺いします。そのうえで、相談を開始しますので、心配なことや気になることがあれば、お構いのない範囲でお話してください。
- 発達検査や知能検査を受けたことがおありでしたら、その結果をご持参ください。

特別支援学級・特別支援学校への入級・入学を
考えているのですが…？



- 特別支援学校や特別支援学級を希望される場合、入学・入級の適否について、高知市教育支援委員会(医師や大学教授、心理士、特別支援教育関係の教職員などの専門的な立場の委員で構成)にはかり、高知市教育委員会が総合的に判断します。
- 特別支援学級を含む学校見学は、1学期と2学期に予定しています。

就学時健康診断について教えてください。



- 10月上旬に年長児の保護者あてに案内が郵送され、11月初旬から12月初旬にかけて実施されます。
- 就学時健康診断の内容は、内科検診、歯科検診、視力検査、発達検査となっています。
- ご住所の校区の小学校で受診してください。



ことばの教室とは

- 正式名称は「言語障害通級指導教室」です。
- ことばの発達に心配のある小学生が、通常の学級に在籍しながら、週に1回程度、指定された曜日、時間にだけ通う教室です。
- 教室に通うときは、保護者が付き添うことを原則としています。
- ことばの教室は「はりまや橋小学校」と「第六小学校」に設置されていて、担当地域は、おおよその目安として、南北の電車通りの東側は「はりまや橋小学校」、西側は「第六小学校」となっています。

内容

- ことばの障害やその程度に応じて、個人指導または少人数のグループ指導をおこないます。



きつおん

吃音のある子に

吃音への理解を促すと共に、吃音と上手に付き合いながらコミュニケーションを楽しめるように支援します。

ことばの発達が遅い子に

語彙を増やしたり、より分かりやすい表現の仕方をやり取りしながら学習していきます。

こうおん

構音に課題のある子に

正しい音で話そうとしても正しく音を出すことができないので、段階的な指導をおこない、日常生活の中での構音が可能になるようにしていきます。

場面によって話せなくなる子に

子どもさんと話をしながら、意思表示の方法を探っていきます。ことばで話すだけでなく、選択肢から選んだり、うなずいたり子どもさんが表現しやすい方法を見つけっていきます。

就学前の相談について

- 年長児の相談を行っています。発音がはっきりしない、発音していることばが鼻へぬける、ことばの発達が遅い、吃音など話しことばのリズム障害、園では話さない等の相談を受けています。
- 初回相談は予約が必要です。教育研究所特別支援教育班か担当地域のことばの教室へお問い合わせください。

教育研究所 特別支援教育班
はりまや橋小学校 ことばの教室
第六小学校 ことばの教室

直通 088-832-4492
直通 088-882-0273
直通 088-822-2821

LD・ADHD・自閉症・情緒障害通級指導教室とは

- 通常の学級に在籍している小学生と中学生でLD(学習障害)、ADHD(注意欠如・多動性障害)・自閉症・情緒障害がある、またはその疑いのある児童生徒が週に1回程度、指定された曜日、時間にだけ通う教室です。
- 他校から通級される場合、小学生については保護者が付き添うことを原則としています。
- 教室は小学生と中学生の教室があり、潮江小学校・初月小学校(自校通級のみ)・潮江中学校に設置されています。

内容

学習や生活上の課題に対応するため、特性を踏まえて認知や運動、ソーシャルスキル等に関する指導をおこないます。

どくじ

読字が苦手な子に



学習のための基本動作(目と手の
きょうおう
協応した動き、姿勢や作業の持続性
等)を自己調整できるようにしています。

集中できる時間が短い子に



子どもさんの興味・関心のあること
や得意なことを活用して集中できるよ
うにします。

しょじ

書字が苦手な子に



タブレット端末でアプリを活用したり、
ワークシートを使ったりして学習してい
ます。

不安や緊張が高い子に



一対一の関わりの中で安心して
自分の思いを表現できるようにします。

人との関わりが苦手な子に



ゲームなどを通して人と関わる楽しさ
を味わえるようにします。

行動の調整が苦手な子に



ルールや決まりを守ることや場
に応じた適切な言動が取れるように
具体的に学びます。

通級による指導のご相談は、随時お受けしています。

教育研究所 特別支援教育班

住 所：高知市棧橋通2丁目1-50 アスパルこうち 3階

T E L：088-832-4492

対応時間：平日8:30~17:15(祝日・年末年始を除く)

不登校に関する相談

小学部「たんぽぽ」

家庭的な雰囲気のある教室で、みんなで遊んだり運動したり勉強したりします。調理、モノづくり、デイキャンプなどインドア、アウトドアでの体験活動を積極的に取り入れて、子どもたちが主体的に活動できるようにしています。



「空色教室」

支援担当者と1対1で安心してゆっくり過ごすことができます。高知駅の北側に教室があります。



学習支援

静かな環境で自分のやりたい学習にじっくり取り組むことができます。先生に質問しながら自分のペースでコツコツ取り組むことが自身の大きな力につながってきます。

中学部「クローバー」

モノづくりや音楽、スポーツや学習など、やってみたいことを仲間やスタッフとともにいき、安心して過ごすことができるようになっています。日常から離れた場所での登山や長距離完歩なども取り入れて、一人ではできないような体験活動をしています。



卒業生支援「あったかスペース」

中学校卒業後、進路が定まらず支援を必要としている20歳までの青少年を対象としています。支援担当者との信頼関係を築く中で、進学、就労、自立支援など、社会とのつながりをめざした活動を行います。

教育支援センターの受理から支援までの流れ

面談予約

学校・保護者等から、電話での面談の予約を入れて下さい。

面談

本人や保護者との面談を行います。



受理会

本人の気持ちや保護者の願いを基に、支援の方向性を検討します。

支援スタート

通所コース	小集団でのプログラムに沿った活動や学習等 小学部「たんぽぽ」、中学部「クローバー」
個別コース	週1回 50分 みらい、空色教室、家庭訪問
学習コース	週2回 10:00～12:00 アスパルこうち5階 月/木プラン、火/金プラン

子どもさん自身の自主性や社会性が育まれるように、保護者や学校の先生と連携を図りながら、支援をしていきます。

教育研究所 教育支援センター みらい

住 所：高知市棧橋通2丁目1-50(アスパルこうち内)
T E L：088-832-4498
対応時間：平日8:30～17:15(祝日・年末年始を除く)

詳しくはこちらへ

